

## 第 2 章 CREST

### 2.1 CREST について

#### 2.1.1 CREST の概要

「CREST」の概要・特徴は以下の通りです。

- a. 国が定める戦略目標の達成に向けて、独創的で国際的に高い水準の目的基礎研究を推進します。今後の科学技術イノベーションに大きく寄与する卓越した成果を創出することを目的とするネットワーク型研究(チーム型)です。
- b. 研究領域の責任者である研究総括が、産・学・官の各機関に所在する研究代表者を総括し、研究領域を「バーチャル・ネットワーク型研究所」として運営します。研究総括は、その研究所長の役割を果たす責任者として、領域アドバイザー等の協力を得ながら以下の手段を通じて研究領域を運営します。
  - ・研究領域の運営方針の策定
  - ・研究課題の選考
  - ・研究計画(研究費、研究チーム編成を含む)の調整・承認
  - ・各研究代表者が研究の進捗状況を発表・議論する「領域会議」の開催、研究実施場所の訪問やその他の機会を通じた、研究代表者との意見交換、研究への助言・指導
  - ・研究課題の評価
  - ・その他、必要な手段
- c. 研究代表者は、自らが立案した研究構想の実現に向けて、複数の研究者からなる一つの最適な研究チームを編成することができます。研究代表者は、自らが率いる研究チーム(研究課題)全体に責任を持ちつつ、研究領域全体の目的に貢献するよう研究を推進します。

#### 2.1.2 CREST の仕組み

##### (1) 研究費

1 課題(1 研究チーム)あたりの予算規模は、原則として 150～500 百万円(通期；通常 5 年半以内)です(研究領域ごとに予算範囲を設定している場合がありますので「第 6 章 募集対象となる研究領域」(127 ページ)もご参照ください)。また、JST は委託研究契約に基づき、研究費(直接経費)に間接経費(直接経費の 30%が上限)を加え、委託研究費として研究機関に支払います。

※ 提案された研究費は、選考を通じて査定を受けます。また、実際の研究費は、研究課題の研究計画の精査・承認により決定します。詳しくは、第 5 章「5.2 採択後の研究推進に関する共通事項」(113 ページ)をご参照ください。

## 第 2 章 CREST

### (2) 研究期間

研究期間は、平成 29 年 10 月から平成 35 年 3 月までの 5 年半以内(第 6 年次の年度末まで実施可能)です。

※ 実際の研究期間は、研究課題の研究計画の精査・承認により決定します。詳しくは、「5.2 採択後の研究推進に関する共通事項」(113 ページ)をご参照ください。

### (3) 研究体制

研究代表者は、複数の研究者からなる一つの最適な研究チームを編成することができます。

- a. 研究代表者は、自身の研究室メンバー等による「研究代表者グループ」のみによって構成された研究チームを編成できます。研究構想を実現する上で必要な場合に限り、その他の研究室あるいは研究機関に所属する研究者等からなるグループ(「共同研究グループ」)を含めた研究チームの編成も可能です。
- b. 研究チームを構成する研究者のうち「共同研究グループ」を代表する方を「主たる共同研究者」といいます。
- c. 研究推進の必要性に応じて、研究員、研究補助員等を研究費の範囲内で雇用し、研究チームに参加させることが可能です。

※ 研究体制にかかる要件については、「2.2.4 応募要件」(24 ページ)をご参照ください。

## 2.1.3 CREST 事業推進の流れ

### (1) 課題の募集・選考

JST は、国が定める戦略目標のもとに定められた研究領域ごとに、研究提案を募集します。選考は、研究領域ごとに、研究総括が領域アドバイザー等の協力を得て行います。

※ 詳しくは、「2.2 課題の募集・選考」(23 ページ)をご参照ください。

### (2) 研究計画の作成

採択後、研究代表者は研究期間全体を通じた全体研究計画書を作成します。また、年度ごとに年次研究計画書を作成します。研究計画には、研究費や研究チーム構成が含まれます。

※ 詳しくは、「5.2.1 研究計画の作成」(113 ページ)をご参照ください。

### (3) 契約

採択後、JST は研究代表者および主たる共同研究者の所属する研究機関との間で、原則として委託研究契約を締結します。

※ 詳しくは、「5.2.2 研究契約」(113 ページ)をご参照ください。

## 第 2 章 CREST

### (4) 研究実施

平成 29 年 10 月から平成 35 年 3 月までの 5 年半以内の期間で、研究を実施していただきます(第 6 年次の年度末まで実施可能です)。

### (5) 評価

研究総括は、研究の進捗状況や研究成果を把握し、領域アドバイザー等の協力を得て、研究課題の中間評価および事後評価を行います。また、課題評価とは別に、研究領域と研究総括を対象とした領域評価が行われます。領域評価にも、中間評価と事後評価があります。

※ 詳しくは、「5.2.7 研究課題評価」(123 ページ)ならびに「5.2.8 研究領域評価」(123 ページ)をご参照ください。

## 2.2 課題の募集・選考

### 2.2.1 募集対象となる研究提案

- (1) 「第 1 章 1.2 研究提案を募集する研究領域」(12 ページ ~)に記載の 11 研究領域に対する研究提案を募集します。
- (2) 各研究領域の概要については、「第 6 章 募集対象となる研究領域」(127 ページ ~)記載の各研究領域の「研究領域の概要」、および「募集・選考・研究領域運営にあたっての研究総括の方針」をよくお読みになり、研究領域にふさわしい研究提案を行ってください。
- (3) 「第 5 章 CREST・さきがけ・ACT-I 共通事項」(107 ページ ~)に、重要な共通事項の記載があります。必ずご確認ください。

### 2.2.2 募集期間

**平成 29 年 4 月 12 日(水)~6 月 6 日(火) 午前 12 時(正午) <厳守>**

その他、説明会・選考等の日程については、「第 1 章 1.3 募集・選考スケジュールについて」(17 ページ)をご参照ください。**募集締切までに e-Rad を通じた応募手続きが完了していない提案については、いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。**

### 2.2.3 採択予定課題数

各研究領域における採択予定件数は、3~8 件程度です(研究領域の趣旨や研究提案の状況、予算により変動します)。

## 第 2 章 CREST

### 2.2.4 応募要件

応募要件は以下の(1)～(3)の通りです。

応募要件に関して、以下のことを予めご承知おきください。

※ 採択までに応募要件を満たさないことが判明した場合、原則として、研究提案書の不受理、ないし不採択とします。

※ 応募要件は、採択された場合、当該研究課題の全研究期間中、維持される必要があります。研究期間の途中で要件が満たされなくなった場合、原則として当該研究課題の全体ないし一部を中止(早期終了)します。

また、応募に際しては、下記(1)～(3)に加え、「第 8 章 応募に際しての注意事項」(292 ページ)ならびに「第 9 章 戦略的創造研究推進事業内における重複応募の制限について」(314 ページ)に記載されている内容をご理解の上、ご応募ください。

#### (1) 応募者の要件

a. 研究代表者となる研究提案者自らが、国内の研究機関に所属して当該研究機関において研究を実施する体制を取ること(研究提案者の国籍は問いません)。

※ 以下の方も研究提案者として応募できます。

- ・国内の研究機関に所属する外国籍研究者。
- ・現在、特定の研究機関に所属していない、もしくは海外の研究機関に所属している研究者で、研究代表者として採択された場合、日本国内の研究機関に所属して研究を実施する体制を取ることが可能な研究者(国籍は問いません)。

※ 民間企業等の大学等以外の研究機関に所属されている方も対象となります。

b. 全研究期間を通じ、研究チームの責任者として研究課題全体の責務を負うことができる研究者であること。

※ 詳しくは、「5.2.5 採択された研究代表者および主たる共同研究者、個人研究者の責務等」(116 ページ)をご参照ください。

c. 所属研究機関において研究倫理教育に関するプログラムを予め修了していること。または、JST が提供する教育プログラムを応募締切までに修了していること。

※ 詳しくは、「8.1 研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」(292 ページ)をご参照ください。

d. 応募にあたって、以下の 4 点を誓約できること。

- ・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成 26 年 8 月 26 日文科科学大臣決定)」の内容を理解し、遵守すること。
- ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)(平成 26 年 2 月 18 日改正)」の内容を理解し、遵守すること。

## 第 2 章 CREST

- ・ 研究提案が採択された場合、研究代表者および研究参加者は、研究活動の不正行為(捏造、改ざん及び盗用)並びに研究費の不正使用を行わないこと。
- ・ 本研究提案書に記載している過去の研究成果において、研究活動の不正行為は行われていないこと。※ e-Rad の応募情報入力画面で、確認をしていただきます。

### (2) 研究体制の要件

以下の要件を満たす必要があります。「5.1.3 選考の観点」の(1)d.項もご参照ください。

- a. 研究チームは、研究代表者となる研究提案者の研究構想を実現する上で最適な体制であること。
- b. 研究チームに共同研究グループを配置する場合、共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できること。
- c. 海外研究機関が共同研究グループとして参加する(海外の研究機関に所属する研究者が主たる共同研究者として参加する)場合には、研究構想実現のために、当該の海外研究機関でなければ研究実施が困難であること(研究総括の承認を必要とする)。この場合、知的財産権等の成果の把握が可能であること。

※ 海外の研究機関を含む研究チーム構成を希望される場合には、研究提案書(CREST - 様式 12)に、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記載してください。また、海外研究機関は、原則として JST が提示する内容で研究契約を締結しなければなりません(間接経費は 30%以内となります)。そのことについて、海外研究機関の契約担当部局責任者の事前承諾の有無を示す所定の様式(後日提示)を、面接選考会までに提出してください。

「5.2.6 研究機関の責務等」の(2)もご参照ください。

- d. 現在さきがけの研究者である方を主たる共同研究者とすることはできません(平成 29 年度にさきがけ研究が終了する場合を除きます)。

### (3) 研究機関の要件

研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。「5.2.6 研究機関の責務等」(120 ページ ~)に掲げられた責務が果たせない研究機関における研究実施は認められませんので、応募に際しては、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。

### 2.3 研究提案書(様式)の記入要領

提出書類の一覧は、以下の通りです。次ページ以降の研究提案書の記入要領に従い、研究提案書を作成してください。

提案書様式は必ず本年度の様式を使用してください。なお、研究領域によっては提案書様式や応募条件(研究期間、研究費)が異なる場合があります。応募される研究領域の提案書様式を e-Rad からダウンロードしてご利用のうえ、提案書の作成にあたっては「募集・選考・研究領域運営にあたっての研究総括の方針」の記載をご確認ください。

様式番号	書類名
様式 1	研究提案書
様式 2	研究提案の要旨および研究代表者の主要業績
様式 3	研究構想
様式 4	研究実施体制 1
様式 5	研究実施体制 2
様式 6	研究費計画
様式 7	業績リスト(研究代表者)・事後評価結果(研究代表者)
様式 8	業績リスト(主たる共同研究者)
様式 9	特許リスト(研究代表者・主たる共同研究者)
様式 10	他制度での助成等の有無
様式 11	人権の保護および法令等の遵守への対応
様式 12	照会先・その他特記事項

※ ファイルの容量は 3 MB 以内を目途に作成ください。

※ 提案書作成前に必ず「5.1.1 研究提案者と研究総括の利害関係について」(107 ページ)もしくは(CREST - 別紙)提出前確認シート「研究総括と利害関係がないか」の部分をご確認ください。明確に判断し難い項目が 1 つでもある場合には、事前に下記の利害関係問い合わせ様式をダウンロードして必要事項を記載の上、ファイルを添付して送付先までお問い合わせください。

利害関係問い合わせ様式：[https://securekisoken.jst.go.jp/H29youkou\\_form.doc](https://securekisoken.jst.go.jp/H29youkou_form.doc)

送付先：[rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)

※ 研究提案の応募方法については、「第 10 章 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募方法について」(319 ページ)をご参照ください。

※ 応募に当たっては、「第 8 章 応募に際しての注意事項」(292 ページ)ならびに「第 9 章 戦略的創造研究推進事業内における重複応募の制限について」(314 ページ)をご理解の上、ご応募ください。

## 提出前確認シート

## ○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください

主な確認ポイント		参照箇所	チェック欄
e-Rad に研究者登録が済んでいるか		「第 10 章」(319 ページ)	<input type="checkbox"/>
研究倫理教育に関するプログラムを修了したか		「8.1 章」(292 ページ)	<input type="checkbox"/>
研究総括と利害関係がないか※		「5.1.1」(107 ページ)	
a	研究総括と親族関係にある。		該当なし <input type="checkbox"/>
b	研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。		該当なし <input type="checkbox"/>
c	現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去 5 年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。不明な点があれば問合せください)		該当なし <input type="checkbox"/>
d	過去に通算 10 年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含まれます。		該当なし <input type="checkbox"/>

※利害関係で明確に判断し難い項目が 1 つでもある場合には、必ず利害関係問い合わせ様式 ([https://securekisoken.jst.go.jp/H29youkou\\_form.doc](https://securekisoken.jst.go.jp/H29youkou_form.doc)) をダウンロードして必要事項を記載の上、ファイルを添付して送付先までお問い合わせください (送付先: rp-info@jst.go.jp)。

## ○ 提出期限について

締切間際は e-Rad のシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いいたします。

## ○ 各様式について

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

	項目	主な確認ポイント	チェック欄
	e-Rad へのデータ入力	記載漏れがないか。	<input type="checkbox"/>
様式 1	研究提案書	記載漏れがないか。 e-Rad データとの不整合はないか。	<input type="checkbox"/>
様式 2	研究提案の要旨および研究代表者の主要業績	PDF に変換された状態で、1. の部分は 2 ページ以内、2. の部分は 1 ページ以内か。	<input type="checkbox"/>
様式 3	研究構想	PDF に変換された状態で、6 ページ以内か。	<input type="checkbox"/>
様式 4	研究実施体制 1	記載漏れ(特に「エフォート」)がないか。	<input type="checkbox"/>
様式 5	研究実施体制 2	記載漏れ(特に「所属研究機関コード」「研究者番号」、「エフォート」)がないか。	<input type="checkbox"/>
様式 6	研究費計画	合計が様式 1 の研究費総額と合致しているか。	<input type="checkbox"/>
様式 7	業績リスト (研究代表者)	関連する論文、主要な論文は、各 20 件程度以下になっているか。	<input type="checkbox"/>
様式 8	業績リスト (主たる共同研究者)	主たる共同研究者 1 人につき 10 件以内か。	<input type="checkbox"/>
様式 9	特許リスト	1 ページ程度か。	<input type="checkbox"/>
様式 10	他制度での助成等の有無	記載漏れがないか。	<input type="checkbox"/>
様式 11	人権の保護および法令等の遵守への対応	該当しない場合にも、その旨記述したか。	<input type="checkbox"/>
様式 12	照会先・その他特記事項	A4 用紙 2 ページ以内か。	<input type="checkbox"/>

## 研究提案書(様式)の記入要領

区分 4

(CREST - 様式 1)

## 平成 29 年度募集 CREST 研究提案書

応募研究領域名	
研究課題名	(20 字程度)
研究代表者氏名	
所属機関・部署・役職	
研究者番号	府省共通研究開発管理システム(e-Rad ( <a href="http://www.e-rad.go.jp/">http://www.e-rad.go.jp/</a> ))へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載してください。
学歴 (大学卒業以降)	(記入例) 昭和〇〇年 〇〇大学〇〇学部卒業 昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授)【記入必須】 昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授)【記入必須】 昭和〇〇年 博士(〇〇学)(〇〇大学)取得
研究歴 (主な職歴と 研究内容)	(記入例) 昭和〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部 助手 〇〇教授研究室で〇〇〇〇〇〇について研究 昭和〇〇年～〇〇年 〇〇研究所 研究員 〇〇博士研究室で〇〇〇〇に関する研究に従事 平成〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部 教授 〇〇〇〇について研究
研究代表者の情報	URL: 【研究代表者情報を掲載しているホームページ(研究室ホームページ、researchmap ページ、等)があれば URL を記載ください】
研究期間	2017 年 月 ～ 年 月 ( 年間)
本提案の effort	今年度： %
希望する研究費	全研究期間での研究費希望総額 ( 百万円) (小数点は記入しないでください)

1 ページ以内厳守



### 様式 1 の作成に際しての注意事項

- ・ 応募研究領域  
研究提案は「CREST」、「さきがけ」および「ACT-I」の全ての研究領域の中から 1 件のみ応募できます。
- ・ 部署：「大学院〇〇研究科」など、略さずに正しく記載ください。
- ・ 役職：特任准教授、テニュアトラック助教など、略さずに正しく記載ください。
- ・ 研究者番号  
応募は e-Rad より行っていただきますが、利用に当たっては、事前に研究者情報の登録が必要です。  
e-Rad ログイン ID がない方は、募集要項の 10.4.1 (322 ページ) をお読みください。
- ・ 学歴・研究歴  
指導教官名、所属した研究室の室長名は必ず記入してください。
- ・ 研究期間  
CREST 研究期間は 5 年半以内です (最長で 2023 年 3 月末日まで)。
- ・ 今年度のエフォート  
年間の全仕事時間 (研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む) を 100% とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率 (%) を記載してください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、CREST のみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載してください。CREST のエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して 100% を超えないようにしてください。

このページは提案時に  
削除ください。

## 研究提案の要旨および研究代表者の主要業績

### 1. 要旨

- ・研究提案の要旨を、A4 用紙 2 枚以内(厳守)で記述してください。10.5 ポイント以上の文字等を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)
- ・様式 2 は、主として、書類選考において、
  - (a)応募研究領域の趣旨に合致しているか(応募研究領域の目的達成への貢献が見込めるか；主として、5.1.3 選考の観点(1)選考基準(事前評価基準)(109 ページ)の a. および b. に対応)
  - (b)当該研究提案が CREST 制度の趣旨に合致しているか(主として、5.1.3 選考の観点(1)選考基準(事前評価基準)の c. の趣旨である、高い水準の基礎研究であることとイノベーション創出に大きく寄与する成果の創出可能性とが両立しているか、に対応)の観点を評価する上で重要な資料となります。従って、本様式では、CREST - 様式 3(研究構想)のうち、項目「1. 研究の目標・ねらい」に対応する内容を中心に簡潔に記述し、項目 2. ～6. に対応する内容はそれを理解する上で最小限の記述としてください。(研究構想の妥当性や実現性に係る科学的・技術的な評価は、主として CREST - 様式 3 により行います。)
- ・また、上記の(a)、(b)の観点から、研究領域ごとに書類選考において第一段選考を行う場合があります。
- ・評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を入れてください。

2 ページ以内厳守

## 2. 主要論文・招待講演リスト

- ・主要論文・招待講演リストを、A4 用紙 1 枚以内(厳守)で記述してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)
- ・文字の大きさや行間を調整していただいてもかまいません。
- ・主たる共同研究者のものは記載しないでください。

### (1) 主要論文リスト

- ・研究代表者となる研究提案者の主要論文 10 件以内を、CREST-様式 7 の 1. から選択して記載してください。(記載事項および形式は、CREST-様式 7 の 1. と同様としてください。)
- ・行頭に連番をつけてください。

### (2) 主要招待講演リスト

- ・研究代表者となる研究提案者の主要な招待講演 10 件以内を記載してください。
- ・行頭に連番をつけてください。

1 ページ以内厳守

## 研究構想

- ・ 評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。
- ・ A4 用紙 6 ページ以内(厳守)で記述してください。また、10.5 ポイント以上の文字等を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)
- ・ 本研究構想中では様式 7、8 の業績リストの記載内容を適切に引用することにより、提案者自身の業績と研究提案との関係が明確となるようにしてください。

### 1. 研究の目標・ねらい

- ・ 研究目標(研究期間終了時に達成しようとする、研究成果の目標)
- ・ 研究のねらい(科学技術イノベーション創出の観点から、上記研究成果によって直接的に得られる科学技術上のインパクト)を、具体的に記載してください。

### 2. 研究の背景

本研究構想の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業上の要請および、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

### 3. 研究計画とその進め方

具体的な研究内容・研究計画を記載してください。

- ・ 「1. 研究の目標・ねらい」をどのように達成しようとするのか、構想・計画を具体的に示していただくために、「1. 研究の目標・ねらい」へ向けた研究のマイルストーン(研究の途上での、研究の達成度の判断基準と時期)を示しつつ、タイムスケジュールの大枠を示してください。研究開始3年後までの達成目標を明確に示してください(中間評価等での評価における判断材料の1つとなります)。
- ・ 「1. 研究の目標・ねらい」の達成にあたって予想される問題点とその解決策を含みます。
- ・ 研究項目ごとに記載していただいても結構です。
- ・ この研究構想において想定される知的財産権等(出願やライセンス、管理を含む)について、現在の関連知的財産権取得状況、研究を進める上での考え方を記述してください。

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

#### 4. 研究実施の基盤および準備状況

本研究構想を推進する基盤となる、

- ・ 研究提案者自身(および必要に応じて研究参加者)のこれまでの研究の経緯と成果
- ・ その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

について、具体的に記載してください。

2.2.7 選考の観点 d. に対応した内容も記載ください。

#### 5. 国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性

関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、この研究構想の世界の中での位置付け、独創性、新規性や優位性を示してください。

#### 6. 研究の将来展望

この研究構想の「1. 研究の目標・ねらい」の達成を端緒として、将来実現することが期待される、科学技術イノベーション創出、新産業創出・社会貢献、知的財産の取得・活用、等を、研究提案者が想定し得る範囲で記述してください。

6 ページ以内厳守

## 研究実施体制 1

## (研究代表者グループの研究実施体制)

## 研究代表者グループ(記入例)

研究代表者 氏名	研究機関名 <sup>1)</sup>	役職	エフォート <sup>2)</sup>
〇〇 〇〇	〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻	教授	40%
研究参加者 氏名 <sup>3,4)</sup>	所属(上記と同じ場合には省略 <sup>5)</sup> )	役職	
〇〇 〇〇		教授	
〇〇 〇〇		准教授	
〇〇 〇〇		講師	
×× ××	××株式会社 ××研究所	主席研究員	

- 1) もし現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載いただき、特記事項にてご事情をお知らせください。
- 2) エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要なとなる時間の配分率(%)を記入してください。
- 3) 研究グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。
- 4) 研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 〇名」といった記述でも結構です。
- 5) 同じ研究実施項目を複数の組織で取り組む必要があれば、研究参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。(Q&A「研究チーム編成について」347 ページもご参照ください)

## ○ 特記事項

- ・ 特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長など)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入してください。

## ○ 研究実施項目および概要 ※本項目は、2ページ上限で作成

## ・ 研究実施項目

## ・ 研究概要

研究代表者グループが担当する研究の概要を簡潔に記載してください。

## ・ 研究構想における位置づけ

自らの研究構想を実現するために研究代表者グループが果たす役割等を記載してください。

## 研究実施体制 2

## (共同研究グループの研究実施体制)

- ・ 研究代表者の所属機関以外の共同研究グループ(共同研究機関)が必要な場合、本様式5に共同研究機関ごとに記載してください。
- ・ 産学官からの様々な研究機関を共同研究グループとすることが可能です。
- ・ 共同研究グループの数に上限はありませんが、研究代表者の研究構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。研究代表者が担う役割が中心的でない、共同研究グループの役割・位置づけが不明であるチーム編成はCRESTの研究体制としては不適切です。
- ・ グループ数に応じて、表を追加削除してください。
- ・ 研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。
- ・ 5.1.3 選考の観点 d. に対応した内容も記載ください。

## 共同研究グループ (1) (記入例)

主たる共同研究者 氏名	共同研究機関名 <sup>1)</sup>	役職	エフォート <sup>2)</sup>
〇〇 〇〇	〇〇研究所 〇〇部門 〇〇チーム	チー ム リ ー ダ	10%
研究者番号 <sup>6)</sup> : 12345678 研究機関コード <sup>7)</sup> : 1234567890			
研究参加者 氏名 <sup>3,4)</sup>	所属(上記と同じ場合には省略 <sup>5)</sup> )	役職	
〇〇 〇〇		主席研究員	
〇〇 〇〇		研究員	
2名雇用予定		特別研究員	
×× ××	××株式会社 ××研究所	主席研究員	

1)～5)は前ページをご参照ください。

6)主たる共同研究者は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad [<http://www.e-rad.go.jp/>])へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載してください。

7)所属先の府省共通研究開発管理システム(e-Rad [<http://www.e-rad.go.jp/>])所属研究機関コードを記載してください。

## ○ 研究実施項目および概要 ※本項目は、2ページ上限で作成

- ・ 研究実施項目
- ・ 研究概要

本共同研究グループが担当する研究の概要を簡潔に記載してください。

- ・ 研究構想における位置づけ・必要性

研究代表者の研究構想を実現するために本共同研究グループが必要不可欠であることの理由、位置づけ等を記載してください。

## 研究費計画

- ・ 費目別の研究費計画と研究グループ別の研究費計画を年度ごとに記入してください。
- ・ 面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究費計画を提出していただきます。
- ・ 採択された後の研究費は、本事業全体の予算状況、研究総括による研究領域のマネジメント、課題評価の状況等に応じ、研究期間の途中に見直されることがあります。
- ・ 研究チーム編成は、研究代表者の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。共同研究グループを編成する場合、共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。
- ・ 5.1.3 選考の観点d.に対応した内容も記載ください。

(記入例)

## ○ 費目別の研究費計画(チーム全体)

	初年度 (H29.10～ H30.3)	2年度 (H30.4～ H31.3)	3年度 (H31.4～ H32.3)	4年度 (H32.4～ H33.3)	5年度 (H33.4～ H34.3)	最終年度 (H34.4～ H35.3)	合計 (百万円)
設備備品費	20	40	0	0	0	0	60
消耗品費	20	40	30	30	20	20	160
旅費	1	2	2	2	2	1	10
人件費・謝金 (研究員の数)	6 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (2)	6 (1)	60
その他	10	0	0	0	0	0	10
合計(百万円)	57	94	44	44	34	27	300

研究費の費目と、その用途は以下の通りです。

- ・ 設備備品費：設備や備品を購入するための経費
- ・ 消耗品費：消耗品を購入するための経費
- ・ 旅費：研究代表者や研究参加者の旅費
- ・ 人件費・謝金：研究員・技術員・研究補助員、RA(※)等の人件費、謝金

※RA(リサーチアシスタント)については、5.2.4 研究費(115 ページ □)およびQ&amp;Aをご参照ください。

- ・ (研究員の数)：研究費で人件費を措置する予定の研究員の人数
- ・ その他：上記以外の経費(研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等)

費目間流用については、Q&amp;A 直接経費について(343 ページ)をご参照ください。

## ○ 特記事項

- ・ 最適な費目毎の予算額・比率となるようご検討ください。
- ・ 人件費が研究費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載してください。
- ・ 研究期間を通じた研究費総額が5億円を超える研究提案である場合、「多額の研究費を必要とする理由」を本項に記載してください。

(次ページへ続く)



(前ページより続く)

(記入例)

○ 研究グループ別の研究費計画

・ 研究チーム編成は、研究代表者の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。  
共同研究グループを編成する場合、共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。

	初年度 (H29.10～ H30.3)	2年度 (H30.4～ H31.3)	3年度 (H31.4～ H32.3)	4年度 (H32.4～ H33.3)	5年度 (H33.4～ H34.3)	最終年度 (H34.4～ H35.3)	合計 (百万円)
研究代表者G ○○大	20	40	25	25	20	15	145
共同研究G1 ××大	20	30	10	10	5	5	80
共同研究G2 ××研	17	24	9	9	9	7	75
合計(百万円)	57	94	44	44	34	27	300

○ 購入予定の主要設備(1 件 5,000 千円以上、機器名、概算価格)

(記入例)

○○グループ

△△△△△△△△△△△△ 15,000 千円

△△△△△△△△△△△△ 5,000 千円

△△△△△△△△△△△△ 10,000 千円

○○グループ

△△△△△△△△△△△△ 7,000 千円

△△△△△△△△△△△△ 10,000 千円

## 業績リスト・事後評価結果(研究代表者)

### 1. 本研究提案に関連する主要な論文・著書等

- ・本研究提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績 20件以内を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・論文についての記載項目は以下の通りとしてください。(著書の場合はこれに準じてください。)項目順は自由です。
- ・様式3で引用している論文は、論文名の前に※を記入してください。

著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年

### 2. 上記以外の主要な論文・著書等

- ・1.以外で、研究代表者の主要な業績である論文・著書等20件以内を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・論文についての記載項目は以下の通りとしてください。(著書の場合は、これに準じてください。)項目順は自由です。

著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年

### 3. 競争的研究資金制度等において代表を務めた研究課題の事後評価 (平成 25 年度以降に公開されたものに限る)

- ・記載項目は以下の通りとしてください。

競争的研究資金制度等の名称、研究課題名、事後評価掲載先 URL

業績リスト(主たる共同研究者)

- ・主たる共同研究者が近年に学術誌等に発表した論文・著書等のうち、今回の提案に関連し重要と考えるものを中心に選び、現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。主たる共同研究者1人につき10件以内で記入してください。
- ・論文についての記載項目は以下の通りとしてください。(著書の場合これに準じてください。)項目順は自由です。

著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年

特許リスト(研究代表者・主たる共同研究者)

○ 主要特許

近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると考える重要なものを選び、A4用紙1ページ程度で記入してください。記載項目は以下の通りです。項目順は自由です。

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

・ 研究代表者

・ 主たる共同研究者

## 他制度での助成等の有無

研究代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度(CREST・さきがけ・ACT-Iを含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。「8.3 不合理な重複・過度の集中に対する措置」(294 ページ)もご参照ください。

## &lt;ご注意&gt;

- ・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- ・現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。
- ・面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

(記入例)

研究代表者：○○ ○○

制度名	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体)	エフォート (%)
					(2)〃(H30年度 予定)	
科学研究費補助 金 基盤研究(S)	受給	××による◇◇ の創成 (○○○○)	H27.4 — H31.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20
JST 戦略的創造 研究推進事業 ALCA	申請	××による◇◇ の高機能化 (○○○○)	H29.10 — H35.3	分担	(1) 140,000 千円 (2) 35,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) -	25

- ・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載してください。その後、申請中・申請予定の助成等を記載してください。
- ・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入してください。
- ・「役割」は、代表又は分担等を記載してください。
- ・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載してください。
- ・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)を記載してください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、CRESTのみに採択されると想定した場合、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載してください。CRESTのエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して100%を超えないようにしてください。
- ・必要に応じて行を増減してください。

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

(記入例)

主たる共同研究者 (1) : △△ △△

制度名	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)〃 (H30年度 予定) (3)〃 (H29年度 予定) (4)〃 (H28年度 実績)	エフォート (%)
厚生労働科学研究費	受給	××開発に関する実践研究 (○○○○)	H27. 5 — H31. 3	代表	(1) 50,000 千円 (2) 20,000 千円 (3) 20,000 千円 (4) 5,000 千円	10
					(1) 千円 (2) 千円 (3) — (4) —	

主たる共同研究者 (2) :

制度名	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)〃 (H30年度 予定) (3)〃 (H29年度 予定) (4)〃 (H28年度 実績)	エフォート (%)
○○財団 ×× 研究助成	受給	××分野への 挑戦的研究 (○○○○)	H28. 4 — H30. 3	代表	(1) 2,000 千円 (2) 0 千円 (3) 1,000 千円 (4) 1,000 千円	15
					(1) 千円 (2) 千円 (3) — (4) —	

### 人権の保護および法令等の遵守への対応

研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換え DNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。また、チーム内に海外の共同研究グループが含まれる場合は、研究代表者グループおよび国内の共同研究グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について、必ず記載ください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

## 照会先・その他特記事項

### ○ 照会先

当該研究課題についてよくご存じの方を 2 名挙げてください(外国人でも可)。それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)をご記入ください。選考(事前評価)の過程で、評価者(研究総括および領域アドバイザー)が、本研究提案に関して照会する場合があります。この照会先の記載は必須ではありません。

### ○ その他特記事項

- ・ 同一の研究領域へ2回目、3回目に応募する場合には、前回の提案との相違点について、記載ください。
- ・ 海外の研究機関を研究チームに加える場合は、募集要項「2.2.4 応募要件」(24 ページ ~)をご参照の上、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの原因を本項に記載してください。
- ・ 必要に応じて、戦略的創造研究推進事業に応募した理由、研究に際してのご希望、特筆すべき受賞歴、異動予定があるなどのご事情その他について、A4用紙2ページ以内で自由に記載してください。



## 2.4 面接対象者資料の記入要領

本資料（面接選考会・補足説明資料）は、面接選考の対象者となった時点で作成いただきます。作成依頼や提出締切日の連絡は、面接選考の対象者へ通知します。

通知が届きましたら、次ページ以降の「面接選考会・補足説明資料」の記入要領に従い、資料を作成いただきます。

※次ページ以降の「面接選考会・補足説明資料」は、研究領域毎に様式が異なる場合があります、あくまでも例示となります。ご注意ください。

面接選考会・補足説明資料
1. 研究提案の概要
2. 研究費計画
3. 他制度での助成等の有無（研究代表者、主たる共同研究者）
4. 過去5年間の助成等の有無（研究代表者、主たる共同研究者）
5. 研究実施環境
6. 研究総括との関係について
7. 海外研究契約について
8. 既存の研究施設・設備の有効活用による効果的な研究開発の推進について

戦略的創造研究推進事業（CREST）  
平成 29 年度 面接選考会・補足説明資料（例示）

研究代表者氏名： ○○ ○○	所属・役職： ○○大学大学院○○研究科・教授	課題ID： 0000000
課題名：○○○○○○○○○○○○		

1. 研究提案の概要

※研究提案の概要を 200 字以内【厳守】で専門ではない読者が理解できる平易な内容で記載してください。また、図や写真を含めて概要をまとめたスライドを 1 枚、合わせてご用意ください（スライド中の文字は 12pt 程度の大きさとしてください）。採択された場合、本概要を新聞発表等の参考資料とさせていただきます。表現は「です・ます」調としてください。

2. 研究費計画

(1) 研究期間：2017 年 10 月～ 年 月（ 年間）

※ 研究期間は 5 年半以内とします。ただし、研究終了時期は研究実施の最終年の年度末とすることができます。（本年度、研究期間 5 年で採択された場合は、研究期間は最長で 2023 年（平成 35 年）3 月末日までとすることができます。）

(2) 研究費総額： 百万円

※ 総研究費が 5 億円を超える場合、その理由、必要性をお書きください。

※ 採択された場合、記載いただいた研究費計画で研究を行うこととは限りません。

(3) 研究グループごとの研究費計画

●研究代表者グループ

研究代表者氏名（所属・役職）：○○ ○○（○○大学○○研究科）

	初年度 (H29. 10～ H30. 3)	2年度 (H30. 4～ H31. 3)	3年度 (H31. 4～ H32. 3)	4年度 (H32. 4～ H33. 3)	5年度 (H33. 4～ H34. 3)	最終年度 (H34. 4～ H35. 3)	合計 (千円)
設備備品費							
消耗品費							
旅費							
人件費・謝金 (研究員の数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
その他							
合計(千円)							

## ●共同研究グループ (1)

主たる共同研究者氏名 (所属・役職) : ◇◇ ◇◇ (◇◇研究所◇◇センター)

	初年度 (H29. 10～ H30. 3)	2年度 (H30. 4～ H31. 3)	3年度 (H31. 4～ H32. 3)	4年度 (H32. 4～ H33. 3)	5年度 (H33. 4～ H34. 3)	最終年度 (H34. 4～ H35. 3)	合計 (千円)
設備備品費							
消耗品費							
旅費							
人件費・謝金 (研究員の数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
その他							
合計(千円)							

## ●共同研究グループ (2)

主たる共同研究者氏名 (所属・役職) : □□ □□ (□□株式会社□□研究所)

	初年度 (H29. 10～ H30. 3)	2年度 (H30. 4～ H31. 3)	3年度 (H31. 4～ H32. 3)	4年度 (H32. 4～ H33. 3)	5年度 (H33. 4～ H34. 3)	最終年度 (H34. 4～ H35. 3)	合計 (千円)
設備備品費							
消耗品費							
旅費							
人件費・謝金 (研究員の数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
その他							
合計(千円)							

## (4) 研究設備・機器について

「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」(平成 27 年 11 月科学技術・学術審議会先端研究基盤部会)において運用することとされている「研究組織単位の研究設備・機器の共用システム」(以下、機器共用システムという。)等の、所属組織等における研究設備・機器の共用の仕組みの活用を積極的に検討してください。特に、大学及び国立研究開発法人等においては、汎用性が高く比較的大型の研究設備・機器については、原則、所属研究機関・組織の共用の仕組みに従って取り扱われるものと考えられます。

以上のことから、

①以下に購入を計画する研究設備・機器について、所属する研究組織(学科、専攻、研究所、センター)等において利用可能な設備・機器(共用設備・機器等)と重複がないことを、研究提案者が確認してください。

②研究開始(委託研究契約の締結)にあたっては、大学及び国立研究開発法人等に所属する研究提案者及び主たる共同研究者に係る以下の(b)の設備・機器購入計画について、各々の所属組織等における設備・機器の共用の観点からの妥当性について機器共用システムの責任者による書面による事前

## 第 2 章 CREST

確認が必要となります。なお、機器共用システムが運用されていない場合、当該委託研究契約の契約担当者による書面による事前確認が必要となります。このことを予めご了承ください。

<input type="checkbox"/> 上記①について、確認しました。 <input type="checkbox"/> 上記②について、了承しました。 ※確認および了承の場合は、上記をチェックください。
---

(注) 機器共用システムが導入されていない研究組織に所属の場合は、大学等研究機関の本部組織における研究戦略担当部門や設備担当部門と連携し、共用の仕組みを導入してください。「5.2.10 その他留意事項」(3)参照。

### (a) 購入予定の主要設備 (1 件 2,000 千円以上、機器名、価格 (概算))

機器名	価格 (千円)	設置場所	購入予定時期
○○○○○○	15,000	○○大学○○研究科	○年○月
○○○○○○	5,000	○○大学○○研究科	
○○○○○○	10,000	◇◇研究所◇◇センター	

### (b) 購入予定の機器のうち 1 件 10,000 千円以上の機器の妥当性・必要性

機器名	価格 (千円)	共同利用・専用の別	妥当性・必要性等 注 1
○○○○○○	15,000	共同利用	○○○○○○
○○○○○○	10,000	共同利用	○○○○○○

注 1) 研究目的・計画に照らした当該機器の仕様・性能等の必要性について具体的に記入してください。専用利用の場合には、共用設備・機器の使用や他との共用ができない理由も、具体的に記入してください。

### ●新たに購入することなく利用可能な主要設備

機器名	設置場所	専用・共同利用の別	設置年度	備考
○○○○○○	○○大学○○研究科			
○○○○○○	○○大学○○研究科			
○○○○○○	◇◇研究所◇◇センター			

## 第 2 章 CREST

〇〇〇〇〇〇	◇◇研究所◇◇センター			

### (5) 研究員等について

#### ●新たに雇用する研究員等の人数

	人数	所属場所
研究員 <sup>注1)</sup>	名	〇〇大学〇〇研究科2名、◇◇研究所◇◇センター1名
技術員	名	〇〇大学〇〇研究科1名
研究補助員	名	□□株式会社□□研究所1名

注1) 下記(6)について記載してください。

- (6) 本研究で雇用する研究員について、当該研究終了後のキャリアパスについて記載してください。また、若手の博士研究員に該当する場合には「多様なキャリアパスを支援する活動計画」について記載してください。募集要項の5.2.5(8) (116 ページ~) および5.2.10(1)(2) (124 ページ~) の関連箇所もご参照ください。

### (7) その他

※ 既存の研究室以外のスペースを新たに整備し、使用する場合は、その旨を明記してください。

3. 他制度での助成等の有無（研究代表者、主たる共同研究者）

※ 研究代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度(CREST・さきがけを含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、役割、提案課題との相違点・関連性、エフォート等を記入してください。必要に応じて他の研究資金での申請書、計画書の提出を求め場合があります。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

＜研究提案書 CREST-様式 10 の作成時点から、申請中だった研究助成についての採否等が判明するなど記載の内容に変更が生じている場合には、その内容も反映させた最新のものとしてください。＞

研究代表者（研究提案者）：○○ ○○

制度名 <sup>1)</sup>	受給 <sup>2)</sup> 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 <sup>3)</sup> (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>4)</sup> (期間全体) (2)〃 (H30年度 予定) (3)〃 (H29年度 予定) (4)〃 (H28年度 実績)	提案課題との相違点・関連性	エフォート (%) <sup>5)</sup>
<b>CREST 提案課題</b> (※削除しないでください) 6)	/	/	H29.10- H35.3	代表	(1) 300,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 10,000 千円 (4) - 千円	-	20
科学研究費補助金 基盤研究(S)	受給	××による◇◇の創成 (○○○○)	H27.4 - H31.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	10
JST 戦略的創造研究推進事業 ALCA	申請	××による◇◇の高機能化 (○○○○)	H28.10 - H34.3	分担	(1) 140,000 千円 (2) 35,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) -	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○	
...							

- 1) 1行目は今回のCREST提案課題について記載してください。その後、現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載してください。さらにその後、申請中・申請予定の助成等を記載してください。
- 2) 助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入してください。
- 3) 「役割」は、代表又は分担を記載してください。
- 4) 「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額（直接経費）を記載してください。
- 5) 「エフォート」は、年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)を記載してください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、CRESTのみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載してください。CRESTのエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して100%を超えないようにしてください。
- 6) 必要に応じて行を増減してください。

主たる共同研究者 (1) : ◇◇ ◇◇

制度名 <sup>1)</sup>	受給 <sup>2)</sup> 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 <sup>3)</sup> (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>4)</sup> (期間全体) (2)〃(H30年度 予定) (3)〃(H29年度 予定) (4)〃(H28年度 実績)	提案課題との相違点・関連性	エフォート (%) <sup>5)</sup>
<b>CREST 提案課題</b> (※削除しないでください) 6)	/	/	H29.10— H35.3	分担	(1) 45,000 千円 (2) 10,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) — 千円	—	10
厚生労働科学研究費	受給	××開発に関する実践研究 (○○○○)	H27.5 — H31.3	代表	(1) 50,000 千円 (2) 20,000 千円 (3) 20,000 千円 (4) 5,000 千円	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○	35
・・・6)							

1)～6)の注については、前ページの研究代表者部分をご参照ください。

51

主たる共同研究者 (2) : □□ □□

制度名 <sup>1)</sup>	受給 <sup>2)</sup> 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 <sup>3)</sup> (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>4)</sup> (期間全体) (2)〃(H30年度 予定) (3)〃(H29年度 予定) (4)〃(H28年度 実績)	提案課題との相違点・関連性	エフォート (%) <sup>5)</sup>
<b>CREST 提案課題</b> (※削除しないでください) 6)	/	/	H29.10— H35.3	分担	(1) 45,000 千円 (2) 10,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) — 千円	—	10
○○財団○○研究助成	受給	××分野への挑戦的研究 (○○○○)	H28.4 — H30.3	代表	(1) 2,000 千円 (2) 0 千円 (3) 1,000 千円 (4) 1,000 千円	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○	35
・・・6)							

1)～6)の注については、前ページの研究代表者部分をご参照ください。

## 4. 過去 5 年間の助成等の有無（研究代表者、主たる共同研究者）

※ 研究代表者および主たる共同研究者が、過去 5 年間に受給していた国の競争的資金制度やその他の研究助成制度での助成等について、研究費（期間全体）が 50,000 千円以上のものを、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、研究費の額、役割などを明記してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

過去 5 年間に受給していた国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等とは、「3. 他制度での助成等の有無」に記載された助成等よりも前に受給していたもので、平成 24 年 4 月～平成 29 年 3 月の間に終了した助成等を指します。

制度名 <sup>1)</sup>	研究課題名	研究期間	研究費（期間全体） <sup>2)</sup>	役割 <sup>3)</sup> （代表/分担）	受給者
科学研究費補助金 基盤研究(S)	○○○○○○○○○○○○	H22－H26	100,000 千円	代表	○○ ○○ （研究代表者）
科学研究費補助金 基盤研究(A)	○○○○○○○○○○○○	H23－H27	52,000 千円	分担	〃
厚生労働省科研費	○○○○○○○○○○○○	H22－H27	50,000 千円	代表	◇◇ ◇◇ （主たる共同研究者）
科学技術振興調整費	○○○○○○○○○○○○	H23－H28	50,000 千円	分担	□□ □□ （主たる共同研究者）

1) 過去 5 年間に受給していた助成等について、研究費（期間全体）が多い順に記載してください。

2) 「研究費（期間全体）」は、ご本人が受給していた金額を記載してください。

3) 「役割」は、代表又は分担等を記載してください。



## 5. 研究実施環境（研究代表者）

※ 研究代表者と同じ研究実施場所（講座、研究室、研究グループ等）に所属する全ての人員構成を記載してください。

役 職 <sup>1)</sup>	人数	うち本研究参加者数
教授	名	名
准教授	名	名
助教	名	名
研究員（ポストドクター等）	名	名
技術員	名	名
研究補助員	名	名
大学院生（博士後期課程）	名	名
大学院生（修士課程）	名	名
学部生	名	名
その他（外部招へい者など）	名	名

1) 役職名については、所属する人員構成により適宜記載ください。また、所属する学生の人数も含めてください。

6. 研究総括との関係について

提案時にもご確認いただいておりますが、念のため、研究総括と下記の関係にないか再度チェックをお願いします。

以下の項目 a～d のうち、該当するか否かについて明確に判断し難い項目が 1 つでもある場合には、事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先： rp-info@jst.go.jp

項目	内容	チェック欄
a	研究総括と親族関係にある。	該当なし <input type="checkbox"/>
b	研究総括と大学、国研等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。	該当なし <input type="checkbox"/>
c	現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去 5 年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。不明な点があれば問合せください)	該当なし <input type="checkbox"/>
d	過去に通算 10 年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含まず。	該当なし <input type="checkbox"/>

7. 海外研究契約について

海外研究機関を含む研究チーム構成を希望される場合には、主に契約上の観点から、当該海外研究機関が要件を満たしていることを確認させていただきます（これらが受け入れられない場合は、原則として契約はできません）。下記要件をご確認いただき、当該海外研究機関への事前説明や事前承諾を得る等の手配を適切に行ってください。

本「補足説明資料」提出時点で「承諾」が得られていない場合は、面接選考会当日、あるいは採択候補となった時点において、研究計画の変更等を求めることがあります。

事前に確認すべき契約要件	募集要項	契約書雛形	チェック欄
原則として、JST が指定する契約書様式で契約を締結すること	5.2.6(2)a (p122)	全条 (APPENDIX を含む)	承諾 <input type="checkbox"/>
当該の海外研究機関から JST へ、知的財産権を無償譲渡すること(産業技術力強化法第19条(日本版バイドール規定)は、海外機関に対しては適用されません。)	5.2.6(2)c (p122)	9.1 条	承諾 <input type="checkbox"/>

当該の海外研究機関への間接経費の支払いが、研究費(直接経費)の30%を超えないこと	5.2.6(2)a (p122)	5.3 条	承諾 <input type="checkbox"/>
JST が経費執行指針を指定する場合は当該指針に基づき適切な経費執行が可能であること。	5.2.6(2)b (p122)	4~6 条、 APPENDIX5	承諾 <input type="checkbox"/>
研究費の支出内容を表す経費明細を英文で作成の上、JST へ提出できること。	5.2.6(2)b (p122)	6.2.1 条、 APPENDIX	承諾 <input type="checkbox"/>
知的財産権となり得る発明等がなされた場合は速やかに(10 営業日以内)に JST へ報告すること	5.2.6(2)c (p122)	9.2 条 APPENDIX6	承諾 <input type="checkbox"/>

○募集要項 <http://www.senryaku.jst.go.jp/teian/koubo/h29youkou.pdf>

○募集要項(英文) [http://www.senryaku.jst.go.jp/teian/en/koubo/h29youkou\\_en.pdf](http://www.senryaku.jst.go.jp/teian/en/koubo/h29youkou_en.pdf)

○海外機関用の研究契約書雛形 <http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/en/2017crest/index.html>

## 8. 既存の研究施設・設備の有効活用による効果的な研究開発の推進について

文部科学省においては、特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律(平成6年法律第78号)、研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律(平成20年法律第63号)等に基づき、研究施設・設備の共用や異分野融合のための環境整備を促進しています。

応募にあたり、研究施設・設備の利用・導入を検討している場合には、本事業における委託研究の効果的推進、既存の施設・設備の有効活用、施設・設備導入の重複排除等の観点から、大学・国立研究開発法人等が保有し広く開放されている施設・設備や産学官協働のための「場」等を積極的に活用することを検討してください(次頁)。

また、大学等においては、競争的研究費による研究課題において、研究設備・機器の共用を積極的に推進することが求められています。詳しくは、募集要項 5.2.10.(3) (126 ページ) を参照してください。

<参考：主な共用施設・設備等の事例>

<p>「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」対象施設 (課題申請スケジュール等、利用に関する情報は各施設のご案内をご参照ください。)</p> <p>大型放射光施設「SPring-8」 (毎年 5 月頃、11 月頃に公募) <a href="http://user.spring8.or.jp/">http://user.spring8.or.jp/</a></p> <p>X 線自由電子レーザー施設「SACLA」 (毎年 5 月頃、11 月頃に公募) <a href="http://sacla.xfel.jp/">http://sacla.xfel.jp/</a></p> <p>大強度陽子加速器施設「J-PARC」 (毎年 5 月頃、10 月頃に公募) <a href="http://is.j-parc.jp/uo/index.html">http://is.j-parc.jp/uo/index.html</a></p> <p>「京」を含むハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ (HPCI) システム <a href="http://www.hpci-office.jp/">http://www.hpci-office.jp/</a></p>
<p>先端研究基盤共用促進事業 ※平成 28 年度より開始された本事業における情報については、下記 URL をご参照ください。 なお、平成 27 年度で終了した「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」における情報についても、下記 URL をご参照ください。 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/shisetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/shisetsu/index.htm</a></p>
<p>ナノテクノロジープラットフォーム <a href="http://nanonet.mext.go.jp/">http://nanonet.mext.go.jp/</a></p>
<p>つくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点 (TIA-nano) <a href="http://tia-nano.jp/">http://tia-nano.jp/</a></p>
<p>創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 (4 拠点) <a href="http://pford.jp/">http://pford.jp/</a></p>
<p>ナショナルバイオリソースプロジェクト <a href="http://www.nbrp.jp/">http://www.nbrp.jp/</a></p>
<p>「きぼう」日本実験棟／国際宇宙ステーション <a href="http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/">http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/</a></p>